

# 道徳学習指導案（1年）

## 1 主題名 「挨拶の大切さ」B－（7）礼儀

（資料名「山での出会い」出典：かけがえのないきみだから 中学校1年 学研）

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいに関わる生徒の実態

入学当初の生徒は、新しい環境や人間関係に緊張しており、普段の挨拶の声も遠慮がちな面が見られた。しかし2学期になり、学校生活に慣れて交友関係が広がったことで、先輩の行動を手本としながら、廊下で会ったお客様や先生、友達などに明るい挨拶ができるようになった。一方、下を向いたまま挨拶したり、友達とのおしゃべりに夢中でいいかげんに挨拶したりと、声の大きさや言葉遣い、表情、態度などから、挨拶の意義を考えた言動が取れない場面も見られる。そこで、挨拶は何のためにするのか、また挨拶をすることで得られるプラスの効果を深く考えさせ、自分はどのような気持ちでどのような言動を取るのかについて納得できる答えを持たせることは、大変意義深いと考える。

### (2) ねらいとする道徳的価値について

新学習指導要領では、以下のように位置付けられている。

B 主として人との関わりに関すること (7)「礼儀」

礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。

礼儀とは、相手の人格を尊重し、尊敬や感謝などの気持ちを言葉遣い、態度や動作として具体的に示すことである。従って、礼儀は心と形が一体となって初めてその価値が認められるものであり、礼儀正しい行為をすることで自分も相手も気持ちよく過ごせ、社会生活も円滑で明るく楽しいものになる。しかし、中学生の時期は、照れる気持ちや周りの状況に左右されることによって、主体的な言動や適切な判断ができないことがある。そこで、礼儀を踏まえた、時と場に応じた適切な言動が取れるよう、他者との関わりを考え、礼儀の意義を理解することは重要である。

また、挨拶は社会の潤滑油の役割を果たすものであるが、時と場によっては形式的で心が伴わない挨拶になりがちな場面も見受けられる。そこで、生徒が挨拶の大切さについて考えることは、礼儀の意義を深く理解し、日常生活において主体的に時と場に応じた適切な言動を取ろうとする態度を養うことにつながると考える。

### (3) 資料について

本資料のあらすじは次のとおりである。

小学4年生の弟と父と一緒に山登りに出掛けた主人公は、挨拶をしてきた若い夫婦に挨拶を返すことができなかった。しかし、積極的に挨拶をしていた弟に対し3人の女子大生が挨拶をしなかったことで、弟や主人公は無視されたと感じる。主人公は、自分もその女子大生と同じかもしれないと気づき、挨拶についての考えを膨らませていく。

主人公の挨拶に対する考え方の変化に着目させることで、挨拶の必要性は分かっているつもりでも、周りへの影響まで深く考えず、自分の身勝手さから挨拶ができない人間の弱さに気付かせる。そして、「目に見えないプラスの効果」をキーワードに挨拶の意義を生徒一人一人に主体的に考えさせることで、相手のことを考えて時と場に応じた言動を取ることの大切さを知ることのできる資料である。

### (4) 指導方針

- 問題を見付ける場面では、生徒が問題意識を持てるように挨拶ができない場面と挨拶の大切さという道徳的価値を比べさせる。また、切実感が高まるように挨拶ができない場合の状況を考えさせる。
- 道徳的価値の理解を深める場面では、問題の解決に結び付く発問において多様な考えから挨拶の意義を考えることができるように、自分の考えを書かせた後、意図的指名を行い、「自分」、「相手」、「お互い」、「周り」の視点で考えを比べ、整理する。

- 解決策を考え、吟味する場面では、自分の考えのよさや課題に気づき、より良い解決策を深く考えることができるように、小グループでの役割演技を取り入れる。また、考えの交流を通して気付いたことは、ワークシートに追記させる。

### 3 研究との関わり

本研究は、「自己を見つめ、よりよい生き方について考える中学校道徳科の授業展開」を研究主題とし、「生徒が問題意識を持つための導入の工夫を通して」を副主題に研究を進めてきた。

本時は、自己を見つめ、よりよい生き方について考える生徒の育成を目指すため、導入で生活経験と既有的道徳的価値を比べて問題意識を持てるようにする。そして、その問題意識を重視した授業を展開することの有効性を、生徒の発言やワークシートなどを通して検証する。

### 4 本時の展開

- (1) **ねらい** 挨拶をしたときのよさやその結果を考えることを通して、挨拶の意義を理解し、相手や周りの人の気持ちを考えて、時と場に応じた挨拶をしようとする態度を養う。
- (2) **準備** 掲示物、ワークシート
- (3) **展開**

場面	学習活動	時間	□主な発問 ◇補助発問 ●予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点
問題を見付ける	<b>生活経験を振り返る</b> ・具体的な日常生活の場면을振り返る。	5分	<b>どのようなときに挨拶をしていますか。</b> <b>【生活経験を振り返る発問】</b> ●学校の廊下ですれ違った人になっている。 ●旗振りをしてくれる地域の人になっている。	◇自分事として考えられるように、挨拶する場면을想起させる。 ◇挨拶の場面が想起しやすいように、挨拶運動の写真を提示する。
	<b>問題意識を持つ</b> ・生活経験と既有的道徳的価値を比べる。		<b>挨拶ができなかった場面がありますか。</b> <b>【問題意識を持つ発問】</b> ●入学したての頃は恥ずかしくてできなかった。 ●友達とのおしゃべりに夢中でできなかった。 ●大勢のとき誰かがしてくれると思ってできなかった。 ◇なぜ、挨拶をするのでしょうか。 ●挨拶は大切だからしている。 ●コミュニケーションを取るためにしている。 ●挨拶するように言われているからしている。 ●何となくしている。	◇意図的指名に生かせるように、事前アンケートで具体的な挨拶の場面を聞いておく。 ◇問題意識を持てるように、挨拶の意義を問う。
	<b>切実感が高まる</b> ・問題を解決した場合、しない場合の状況を考える。 ・学習課題（めあて）をつかむ。		<b>挨拶ができない場面が増えるとうどうですか。</b> <b>【切実感が高まる発問】</b> ●気持ちが暗くなる。 ●話しかけづらくなる。 ●生活しづらくなる。 ..... めあて（例） <b>なぜ、挨拶が大切なのか考えよう。</b>	◇自分事として切実感が高まるように、挨拶ができない場合を考えさせる。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">道徳的価値の理解を深める</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">道徳的価値について考える</p> <p>・問題の解決に結びつく道徳的価値について考える。</p> <p>・考えを比べたり、整理したりする。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">挨拶することに対する主人公の気持ちは、どのように変化したのでしょうか。</p> <p>◇資料の中で何が問題となっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●主人公が挨拶できなかったこと。</li> <li>●大学生が弟の挨拶に対して無視したこと。</li> </ul> <p>◇弟から「なんで挨拶しなかったんだよ」と言われたとき、主人公はどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●挨拶は苦手だ。</li> <li>●知らない人に言うのは恥ずかしい。</li> </ul> <p>◇大学生の様子を見た後、どのように変わりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●私も同じように、無視していた。</li> <li>●相手に悪かった。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">挨拶をすることで、目に見えないどんなプラスの効果が生まれるのでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【問題の解決に結び付く発問】</p> <p>【自分】 ●自分の気持ちを伝えることができる。</p> <p>【相手】 ●安心できる。</p> <p>【お互い】 ●お互い元気になれる。</p> <p>【周り】 ●周りの人も気持ちが良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●その場の雰囲気良くなる。</li> </ul>	<p>◇場面絵を掲示し、主人公の行動を確認する。</p> <p>◇主人公の挨拶に対する考え方の変化をつかませる。</p> <p>◇挨拶の意義を考えさせるために、意図的指名で多様な考えを出させ、整理する。</p> <p style="text-align: center;">【考えの比較・整理】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">解決策を考え、吟味する</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">解決策を考える</p> <p>・道徳的価値を基に、今までの自分とこれからの自分を見つめ、解決策を考える。</p> <p>・道徳上の問題に関わる自分の考えとその理由を書く。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">解決策を吟味する</p> <p>・小グループで役割演技をし、お互いの考えのよさを伝え合う。</p> <p>・気付いたことや更に考えたことを追記する。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">これからどのような気持ちで挨拶をしていきたいですか。</p> <p style="text-align: center;">【問題の解決を図る発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●相手の気持ちを考える。</li> <li>●どんな場面か考えてから挨拶する。</li> <li>●ただ言うだけではなく、気持ちを込める。</li> <li>●挨拶でみんなが明るくなるようにする。</li> <li>●時や場面を考えて、挨拶の仕方を工夫する。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">＜3人グループでの交流・役割演技＞</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①各自が自分の考えとその理由を発表する。</li> <li>②挨拶の場面を設定して、役割演技を行う。</li> </ol> <p style="text-align: center;">例)・朝、交通当番の地域の人に会った場面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時に先生が他の人と話している場面</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>③発表者に考えの良いところを伝える。</li> <li>④気付いたことや新しい考えを追記する。</li> </ol>	<p>◇導入と照らし合わせ、実生活と結び付けて考えさせる。</p> <p>◇多様な考えに触れて、互いの考えのよさを認め合えるようにする。</p> <p style="text-align: center;">【小グループ活動】</p> <p>◇実感を伴って考えを深められるように、役割演技を取り入れる。</p> <p style="text-align: center;">【役割演技】</p> <p>◇気付いたことはワークシートに追記させる。</p> <p>◇より良く生活するために、自分の成長を振り返らせる。</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">振り返る</p> <p>・本時を振り返り、自己の変容を確かめる。</p>	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今までと気持ちが変わったな。</li> <li>●挨拶について、深く考えることができたな。</li> <li>●友達の意見が参考になったな。</li> <li>●これからは時と場に合わせて挨拶したいな。</li> </ul>	

(4) 他の教育活動との関連

- ・学級活動 「学校の生活について」
- ・生徒会活動 「挨拶運動」
- ・学校行事 「高原学校」

5 板書計画

<p><b>板書計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・相手の気持ちを考える。</li><li>・どんな場面か考える。</li><li>・気持ちを込めて言う。</li><li>・みんなが明るくなるようにする。</li><li>・時や場面を考えて工夫する。</li></ul>	<p><b>これからどのような気持ちで挨拶をしていきたいか。</b></p>	<p>めあて なぜ、挨拶が大切なのか考えよう。</p>	<p><b>挨拶をすることで、どんなプラスの効果が生まれるのだろう。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>【自分】<ul style="list-style-type: none"><li>・気持ちを伝えることができる。</li></ul></li><li>【相手】<ul style="list-style-type: none"><li>・安心できる。</li></ul></li><li>【お互い】<ul style="list-style-type: none"><li>・元気になる。</li></ul></li><li>【周り】<ul style="list-style-type: none"><li>・気持ちが良い。</li><li>・雰囲気が良くなる。</li></ul></li></ul>	<p><b>挨拶の場面</b></p>	<p>場面絵②</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・無視していた。</li><li>・相手に悪かった。</li></ul>	<p>場面絵①</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・苦手だ。</li><li>・恥ずかしかった。</li></ul>	<p>挨拶の場面</p> <p>【アンケート結果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・挨拶をする場面</li><li>・廊下ですれ違った人にする。</li><li>・朝、地域の人がする。</li><li>・挨拶ができない場面</li><li>・入学したてで恥ずかしかった。</li><li>・友達とおしゃべりをしていた。</li></ul>	<p><b>挨拶の場面</b></p>
---	--	-----------------------------	---	---------------------	--	---	--	---------------------

# 道徳学習指導案（1年）

- 1 主題名 「社会の中で守るべき正義」 C－(10) 遵法精神、公德心  
(資料名「傘の下」 出典：かけがえのないきみだから 中学校1年 学研)

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいに関わる生徒の実態

中学校生活に慣れてきたこの時期の生徒は、中学生として社会や学校の法やきまりを理解し、守らなくてはならないという素直な気持ちを持って生活している。しかし、それは「きまりだから守る」という他律的な考え方に基づいていることも多く、人が見ていなかったり、自分の都合を優先したりしたときには、守られない場合も見られる。一方で、中学生としての自覚や規範意識を持ち、より良い社会にするために行動しようとする生徒もいる。そこで、生徒たちに法やきまりを守ることの意義について自らの体験を踏まえながら考えさせたい。そして、法やきまりを守ることが集団や社会の安定を生み、個人を守ることにつながるということに気付き、社会の一員として自己の責任を果たそうとする心を育むことは、大変意義深いと考える。

### (2) ねらいとする道徳的価値について

新学習指導要領では、以下のように位置付けられている。

C 主として集団や社会との関わりに関すること (10)「遵法精神、公德心」 法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。
--

「法やきまり」は、集団の秩序を保ち、個々の利益のぶつかり合いを最小限にするものである。そして、社会の秩序と規律を守ることによって、個人の自由が保障され、安定した生活が維持できる。しかし、中学生の時期は法やきまりを自分の生活を制限するものと感じ、「きまりだから守る」という他律的な理由で従っていることも多い。そのため、周囲のことを考えずに自分本位の理由で守られないこともある。そこで、法やきまりを守ることの意義を深く考えて、他者への思いやりの心や自分自身の自尊心に関わることなどに気付き、自律的な捉え方ができるようにすることが重要である。そして、自主的な判断で法やきまりを守ることが、社会の一員として大切であり、結果として秩序と規律あるより良い社会の実現につながることに気付かせることが大切となる。

### (3) 資料について

本資料のあらすじは次のとおりである。

傘を持たずに病院に行った主人公は、帰りに雨に降られ、自分勝手な思いから入口にある傘立ての傘を持ち帰ってしまう。その後ろから女性が傘を差さずに走って行った。後日傘を返しに行った主人公は、持ち帰った傘がその女性のものだったと知り、複雑な気持ちになる。
---

主人公が傘を持ち帰る場面では、心の底には人の物を持って行ってはいけないという罪悪感がありながらも、自分の利益を優先させてしまう人間の弱さに気付かせる。そして、真実を知った後の主人公の気持ちを考えることで、きまりを守ることの意義について考えを深めることのできる資料である。

### (4) 指導方針

- 問題を見付ける場面では、生徒が問題意識を持てるように自分勝手な思いからきまりを守ることができなかった場面ときまりを守ることの大切さという道徳的価値を比べさせる。また、切実感が高まるようにきまりを守ることができなかった場合の状況を考えさせる。
- 道徳的価値の理解を深める場面では、問題の解決に結びつく発問において多様な考えから傘が女性のものだと知った主人公の気持ちを考えることができるように、自分の考えを書かせた後、意図的指名を行い、「自分」や「女性」の視点で考えを比べ、整理する。
- 解決策を考え、吟味する場面では、自分の考えのよさや課題に気付き、より良い解決策を深く考えることができるように、小グループで考えを伝え合う場を設ける。また、考えの交流を通して気

付いたことは、ワークシートに追記させる。

### 3 研究との関わり

本研究は、「自己を見つめ、よりよい生き方について考える中学校道徳科の授業展開」を研究主題とし、「生徒が問題意識を持つための導入の工夫を通して」を副主題に研究を進めてきた。

本時は、自己を見つめ、よりよい生き方について考える生徒の育成を目指すため、導入で資料の問題場面と既存の道徳的価値を比べて問題意識を持てるようにする。そして、その問題意識を重視した授業を展開することの有効性を、生徒の発言やワークシートなどを通して検証する。

### 4 本時の展開

(1) **ねらい** きまりを守れなかったときの主人公の気持ちを考えることを通して、社会の中で守るべき正義としての法やきまりを大切にし、秩序と規律ある社会を実現しようとする判断力を養う。

(2) **準備** 掲示物、ワークシート

(3) **展開**

場面	学習活動	時間	□主な発問 ◇補助発問 ●予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点
問題を見付ける	資料から問題場面を見付ける  ・資料を読んで、問題となる場面を見付ける。	10分	◇資料を読んで、問題場面を見付けましょう。 資料の中で、どのような問題がありましたか。 【問題場面を見付ける発問】  ●人の傘を黙って使ってしまったこと。	◇資料から問題となる場面を見付けさせ、ワークシートに記入させる。
	問題意識を持つ  ・資料の問題場面と既存の道徳的価値を比べる。		◇主人公は人の物を勝手に持って行ってはいけないというきまりを知らなかったのでしょうか。 ●知っていたけれど、守れなかった。 主人公はなぜ守れなかったのでしょうか。 【問題意識を持つ発問】  ●濡れたくない気持ちが勝ったから。 ●たくさん傘があるから大丈夫だと思った。	◇問題意識を持てるように、分かっているでもきまりを守れない場面があることを共有させる。
	切実感が高まる  ・問題が解決した場合、しない場合の状況を考える。  ・学習課題（めあて）をつかむ。		このような場面があるとどうですか。 【切実感が高まる発問】  ●自分にもありそうだ。 ●きまりを守れないと良くない。 ●生活しづらくなりそうだ。 ●どうしたらきまりを守れるか考えた方が良い。	◇自分事として切実感が高まるように、きまりが守れない場合を考えさせる。 ◇自分の生活経験と照らし合わせ、同様の問題場面を想起させる。
			めあて（例） 正しい判断ができず、きまりを破ってしまったときの心を見つめよう。	

<p>道徳的価値の理解を深める</p>	<p><b>道徳的価値について考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の解決に結びつく道徳的価値について考える。</li> <li>・考えを比べたり、整理したりする。</li> </ul>	<p>15分</p> <p><b>傘を返したとき、主人公はなぜほっとしたのでしょうか。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●誰にも気付かれずに返せて良かった。</li> <li>●返したのだから、もう罪は消える。</li> <li>●いつも置き去りの傘があるから大丈夫だろう。</li> <li>●誰にも迷惑をかけていない。</li> </ul> <p><b>傘を持って行った女性を見て、主人公はどのようなことを感じたのでしょうか。</b> 【問題の解決に結び付く発問】</p> <p>【自分に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●やらなければよかった。</li> <li>●自分勝手な考えだった。</li> <li>●自分が恥ずかしい。</li> </ul> <p>【女性に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●全て知っていたんだ。</li> <li>●女性はきまりを守ったんだ。</li> </ul>	<p>◇悪いと分かっているながらも、自分勝手な理由で、傘を手にした主人公の弱い気持ちに気付かせる。</p> <p>◇主人公の心情を考えさせるために、意図的指名で多様な考えを出させ、整理する。 【考えの比較・整理】</p>
<p>解決策を考え、吟味する</p>	<p><b>解決策を考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値を基に、今までの自分とこれからの自分を見つめ、解決策を考える。</li> <li>・道徳上の問題に関わる自分の考えとその理由を書く。</li> </ul> <p><b>解決策を吟味する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで考えを伝え合い、お互いの考えのよさを交流する。</li> <li>・気付いたことや更に考えたことを追記する。</li> </ul> <p><b>振り返る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、自己の変容を確かめる。</li> </ul>	<p>20分</p> <p><b>これからきまりを守るために、どのような気持ちで生活することが大切ですか。</b> 【問題の解決を図る発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●人に迷惑をかけないように考える。</li> <li>●行動するときには他の人のことを考える。</li> <li>●自分勝手に決めず、確認する。</li> <li>●自分に恥ずかしくない行動を取るようになる。</li> </ul> <p><b>&lt;3人グループでの交流&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①一人が自分の考えとその理由を発表する。</li> <li>②発表者に考えの良いところを伝える。</li> <li>③気付いたことや新しい考えを追記する。</li> </ol> <p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今までと気持ちが変わったな。</li> <li>●きまりを守ることについて、考えることができたな。</li> <li>●友達の意見が参考になったな。</li> <li>●これからはみんなのことを考えて行動したいな。</li> </ul>	<p>◇導入と照らし合わせ、実生活と結び付けて考えさせる。</p> <p>◇多様な考えに触れて、互いの考えのよさを認め合えるようにする。 【小グループ活動】</p> <p>◇気付いたことはワークシートに追記させる。</p> <p>◇より良く生活するために、自分の成長を振り返らせる。</p> <p>◇「傘の下」の意味を問い掛け、余韻を残す。</p>

(4) 他の教育活動との関連

- ・学級活動 「学校生活のきまり」「部活動の充実」
- ・委員会活動 「生活チェック」

5 板書計画

<p><b>板書計画</b></p>	<p>めあて 正しい判断ができず、きまりを破ってしまったときの心を見つめよう。</p> <table border="1"><tr><td data-bbox="933 472 1066 562">場面絵②</td><td data-bbox="1082 472 1214 562">場面絵①</td></tr><tr><td data-bbox="603 539 798 862">【自分に対して】 ・やらなければ良かった。 ・自分が勝手な考えだった。 ・自分が恥ずかしい。 【女性に対して】 ・女性に知っていらんだ。 ・女性ばかりを守った。</td><td data-bbox="1023 573 1129 913">・気付かずに返せた。 ・返したから、罪は消える。 ・いつも傘があるから大丈夫だ。 ・迷惑はかけていない。</td></tr></table> <p>傘を持って行った女性を見て、主人公はどのようなことを感じたか。</p> <p>人の傘を黙って使ってしまったこと</p> <p><b>傘の下</b></p> <p>これからきまりを守るために、どのような気持ちで生活することが大切か。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・人に迷惑をかけないように考える。</li><li>・他の人のことを考える。</li><li>・自分勝手に決めず、確認する。</li><li>・恥ずかしくない行動を取る。</li></ul>	場面絵②	場面絵①	【自分に対して】 ・やらなければ良かった。 ・自分が勝手な考えだった。 ・自分が恥ずかしい。 【女性に対して】 ・女性に知っていらんだ。 ・女性ばかりを守った。	・気付かずに返せた。 ・返したから、罪は消える。 ・いつも傘があるから大丈夫だ。 ・迷惑はかけていない。
場面絵②	場面絵①				
【自分に対して】 ・やらなければ良かった。 ・自分が勝手な考えだった。 ・自分が恥ずかしい。 【女性に対して】 ・女性に知っていらんだ。 ・女性ばかりを守った。	・気付かずに返せた。 ・返したから、罪は消える。 ・いつも傘があるから大丈夫だ。 ・迷惑はかけていない。				

# 道徳学習指導案（1年）

- 1 主題名 「集団の一員としての自覚と誇り」C－（15）よりよい学校生活、集団生活の充実  
（資料名「一枚のピース」 出典：かけがえのないきみだから 中学校1年 学研）

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいに関わる生徒の実態

生徒は今まで、陸上記録会や合唱コンクールなどの学校行事を通して、学級という集団で協力して取り組むことのよさを実感している。しかし、1年生ということもあり、学級での取組に積極的になれなかったり、自分の都合や好みを優先させてしまったりする場面も見られる。それは、自分の属する集団の目的や一人一人の役割を十分に理解しておらず、集団活動を通して自己の成長を実感できていないことが一因となっている。また、このような場面は学級での係・当番活動や部活動などでも同様に見られることである。そこで、集団の中での自分の役割と責任を考え、その役割を果たすことで集団が充実したり、自己実現が果たされたりすることに気付かせることは、大変意義深いと考える。

### (2) ねらいとする道徳的価値について

新学習指導要領では、以下のように位置付けられている。

C 主として集団や社会との関わりに関すること（15）「よりよい学校生活，集団生活の充実」 教師や学校の人々を敬愛し，学級や学校の一員としての自覚をもち，協力し合ってよりよい校風をつくるとともに，様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。
--

人間は、他の人間と関係を持って集団を作り上げ、様々な集団の一員として生活している。そして、集団の一員としてよりよく生きていくためには、自分の所属する集団の意義や目的を理解することが大切である。さらに、集団の一員としての役割と責任を果たそうとする自覚を持ち、集団としての目標を達成する中で、集団生活の充実が図られるだけでなく自らのよさを発揮することにもつながる。また、集団においては人間関係を大切に、お互いが励まし合い高め合うことが大切である。

しかし、中学に入学して間もない時期には、集団に対する帰属意識が十分とは言えない傾向にある。また、自我意識が高まりつつある中で、自己中心的な思いで行動し、全体に目が向けられなくなってしまうこともある。そこで、生徒が様々な集団生活での経験を通して自らの所属する集団の目的や意義を理解し、自分の役割を自覚してより良い集団の在り方を深く考えられるようにする必要がある。

### (3) 資料について

本資料のあらすじは次のとおりである。

吹奏楽部で自分が希望していた楽器を担当することができなかった主人公が、同じ境遇にあった先輩の話聞いたことで、部活動の中での自分の役割を考え直す。そして、先輩とともに部活動の中での自分らしさを追求していく。
--

主人公が生徒と同年齢であること、部活動という身近な集団生活を取り上げていることから、生徒が自分の生活経験を振り返り、自分事として考え話し合うことができる。主人公が気付いた「一枚のピース」の意味を主体的に考えさせることで、集団生活における一人一人の役割に気付かせることができる資料である。

### (4) 指導方針

- 問題を見付ける場面では、生徒が問題意識を持てるように集団生活がうまくいかない場面と集団生活の大切さという道徳的価値を比べさせる。また、切実感が高まるように集団において一人一人の役割が果たされない場合の状況を考えさせる。
- 道徳的価値の理解を深める場面では、問題の解決に結び付く発問において多様な考えから集団生活における一人一人の役割や責任を考えることができるように、自分の考えを書かせた後、意図的指名を行い、「自分」や「集団」の視点で考えを比べ、整理する。

- 解決策を考え、吟味する場面では、自分の考えのよさや課題に気付き、より良い解決策を深く考えることができるように、小グループで考えを伝え合う場を設ける。また、考えの交流を通して気付いたことは、ワークシートに追記させる。

### 3 研究との関わり

本研究は、「自己を見つめ、よりよい生き方について考える中学校道徳科の授業展開」を研究主題とし、「生徒が問題意識を持つための導入の工夫を通して」を副主題に研究を進めてきた。

本時は、自己を見つめ、よりよい生き方について考える生徒の育成を目指すため、導入で生活経験と既有的道徳的価値を比べて問題意識を持てるようにする。そして、その問題意識を重視した授業を展開することの有効性を、生徒の発言やワークシートなどを通して検証する。

### 4 本時の展開

- (1) **ねらい** 部活動での一人一人の役割について主人公の気持ちの変化を考えることを通して、集団における自己の立場や役割と責任を自覚し、成員としての誇りを持って、進んで集団生活の向上に努めようとする態度を養う。
- (2) **準備** 掲示物、ワークシート
- (3) **展開**

場面	学習活動	時間	□主な発問 ◇補助発問 ●予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点
問題を見付け	<b>生活経験を振り返る</b> ・具体的な日常生活の場面を振り返る。	5分	<b>クラスでの活動にどのような気持ちで取り組みましたか。</b> <b>【生活経験を振り返る発問】</b> ◇全員リレーやクラス合唱にどのような気持ちで取り組みましたか。 ●みんなと協力した。 ●優勝・金賞を目指した。 ●練習を頑張った。	◇自分事として考えられるように、学級集団での取組を想起させる。 ◇共通体験を想起しやすいように、リレーや合唱の写真を掲示する。
	<b>問題意識を持つ</b> ・生活経験と既有的道徳的価値を比べる。		<b>そのときにうまくいかないことはありましたか。</b> <b>【問題意識を持つ発問】</b> ●時々練習をさぼってしまったことがあった。 ●あきらめてしまうことがあった。 ●最初は気持ちが揃わないことがあった。	◇意図的指名に生かせるように、事前アンケートで集団活動に対する意識を聞いておく。 ◇問題意識を持てるように、個人の役割を実現できていない場面があることを共有させる。
	<b>切実感が高まる</b> ・問題を解決した場合、しない場合の状況を考える。  ・学習課題（めあて）をつかむ。		<b>このような場面が増えるとどうですか。</b> <b>【切実感が高まる発問】</b> ●増えるとクラスがうまくいかない。 ●自分にもあったから考えたい。 ●今よりもっと良いクラスにするために考えたい。  めあて（例） <b>集団を良くするために、どうしたらよいか考えよう。</b>	◇自分事として切実感が高まるように、集団の問題が解決しない場合を考えさせる。

<p>道徳的価値の理解を深める</p>	<p><b>道徳的価値について考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の解決に結びつく道徳的価値について考える。</li> <li>・意見を比べたり、整理したりする。</li> </ul>	<p>◇資料の中で岳史は何に悩んでいましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本当はトランペットが吹きたい。</li> <li>●知寛に心配をかけたくない。</li> <li>●演奏会で失敗してしまった。</li> </ul> <p><b>知寛の部屋で話を聞いた後、岳史の気持ちはどのように変化したのでしょうか。</b> 【問題の解決に結びつく発問】</p> <p>【自分】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●目立たなくてもチューバは大切な存在だ。</li> <li>●頑張っって自分の役割を果たしたい。</li> </ul> <p>【集団】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●みんなお互いを大切に思っているから、誰も責めなかったんだ。</li> <li>●集団活動は一人一人の信頼が大切だ。</li> <li>●自分も集団の一員だから責任がある。</li> <li>●パズルを完成させるには一人一人が大切なんだ。</li> <li>●みんなの思いに応えたい。</li> </ul>	<p>◇岳史のトランペットを吹けない無念さと知寛に対する気持ちに共感させる。</p> <p>◇集団の中での個の役割を考えさせるために、意図的指名で多様な考えを出させ、整理する。 【考えの比較・整理】</p>
<p>解決策を考え、吟味する</p>	<p><b>解決策を考える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値を基に、今までの自分とこれからの自分を見つめ、解決策を考える。</li> <li>・道徳上の問題に関わる自分の考えとその理由を書く。</li> </ul> <p><b>解決策を吟味する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小グループで考えを伝え合い、お互いの考えのよさを交流する。</li> <li>・気付いたことや更に考えたことを追記する。</li> </ul>	<p><b>これから集団の中で、どのような考えで過ごしていきたいですか。</b> 【問題の解決を図る発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の役割を果たす。</li> <li>●一人一人を大切にする。</li> <li>●お互いに認め合う。</li> <li>●仲間を信頼する。</li> <li>●集団の目標を達成するために、一人一人が向上心を持つ。</li> <li>●みんなの気持ちを考えながら行動する。</li> <li>●自分の役割に自信を持つ。</li> </ul> <p><b>&lt;3人グループでの交流&gt;</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①一人が自分の考えとその理由を発表する。</li> <li>②発表者に考えの良いところを伝える。</li> <li>③気付いたことや新しい考えを追記する。</li> </ol>	<p>◇導入と照らし合わせ、実生活と結び付けて考えさせる。</p> <p>◇多様な考えに触れて、互いの考えのよさを認め合えるようにする。 【小グループ活動】</p> <p>◇気付いたことはワークシートに追記させる。</p>
	<p><b>振り返る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、自己の変容を確かめる。</li> </ul>	<p>5分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●今までと気持ちが変わったな。</li> <li>●集団の中の自分について、考えることができたな。</li> <li>●友達の意見が参考になったな。</li> <li>●これからもっと良いクラスにしたいな。</li> </ul>	<p>◇より良く生活するための意欲が持てるように、自分の成長を振り返らせる。</p>



# 道徳学習指導案（1年）

- 1 主題名 「自分の中にある弱さと強さ」D－(22) よりよく生きる喜び  
(資料名「つかの間の出来事」出典：かけがえのないきみだから 中学校1年 学研)

## 2 主題設定の理由

### (1) ねらいに関わる生徒の実態

中学校生活に慣れてきたこの時期の生徒は、中学生として善悪を判断し、より良い行動を取りたいという気持ちを持つようになってきている。しかし、実際には悪いことだと思っても叱られたくないという気持ちが強く作用し、正しい行動が取れないこともある。また、「この位は大丈夫だろう」と自分の心の弱さから都合のよい判断をしてしまうことも多い。そこで、誰でも自分勝手な理由で嫌なことから逃げ、見付からなければよいと思ってしまう弱い心があることに気付かせるとともに、その弱い心を乗り越える人間としての強さがあることを理解させたい。そして、自分と向き合うことで目指す生き方に目を向けられるようにすることは、大変意義深いと考える。

### (2) ねらいとする道徳的価値について

新学習指導要領では、以下のように位置付けられている。

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること (22)「よりよく生きる喜び」 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだすこと。
--

人間は誰でも誘惑に負け、自分の利益を優先して不都合なことを隠してしまったり、やるべきことから逃げてしまったりする心の弱さや醜さを持っている。そして、良心によって悩み、苦しみ、罪悪感を持ち続ける自分の存在を意識して、自分に自信が持てない状況に陥ることもある。しかし、そのようなありのままの自分と向き合い、心の弱さを克服する人間としての強さや気高さに気付いたとき、自分に誇りを持つことが大切であると感じ、人間としてのよさに気付くことができる。そこで、人間が誰しも持っている弱さや醜さに気付き、それを乗り越える強さや気高さを理解し、誇りある生き方に目を向けられるようにすることが大切である。

### (3) 資料について

本資料のあらすじは次のとおりである。

主人公が買い物に行った先でふと手に取った本の表紙を誤って破いてしまう。正直に言った方がよいと思う気持ちとは裏腹に、誰も見ていないのだから知らないふりをして帰ろうというずるい気持ちが湧いてくる。一度は黙って店の外に出た主人公だったが、帰り道で後悔する気持ちが強くなり、再び店に戻って店員に謝罪する。その後、母親にも正直に告白したことで、心の中のもやもやしたものがなくなっていく。
--

自分の弱さを克服しようとする主人公の心の葛藤を追うことで、人間誰しも弱い心を持つが、それを克服する強さや気高さがあることに気付き、人間として誇りある生き方に近付いていこうとする心を育むことのできる資料である。

### (4) 指導方針

- 問題を見付ける場面では、生徒が問題意識を持てるように心の誘惑に負けて正しい行動ができなかった場面と正直に謝ることの大切さという道徳的価値を比べさせる。また、切実感が高まるように心の誘惑に負けてしまった場合の状況を考えさせる。
- 道徳的価値の理解を深める場面では、問題の解決に結び付く発問において多様な考えから正直に謝ることのできた主人公の気持ちの変化を考えることができるように、自分の考えを書かせた後、意図的指名を行い、「自分」や「周りの人」の視点で考えを比べ、整理する。
- 解決策を考え、吟味する場面では、自分の考えのよさや課題に気付き、より良い解決策を深く考えることができるように、小グループでお互いの考えを伝え合う場を設ける。また、考えの交流を

通して気付いたことは、ワークシートに追記させる。

### 3 研究との関わり

本研究は、「自己を見つめ、よりよい生き方について考える中学校道徳科の授業展開」を研究主題とし、「生徒が問題意識を持つための導入の工夫を通して」を副主題に研究を進めてきた。

本時は、自己を見つめ、よりよい生き方について考える生徒の育成を目指すため、導入で資料の問題場面と既存の道徳的価値を比べて問題意識を持てるようにする。そして、その問題意識を重視した授業を展開することの有効性を、生徒の発言やワークシートなどを通して検証する。

### 4 本時の展開

(1) **ねらい** 心の誘惑に負けて正しい行動ができなかった主人公の気持ちの変化を考えることを通して、人間には弱さもあるがそれを乗り越える強さもあることを信じ、人間としての誇りを持って生きようとする心情を養う。

(2) **準備** 掲示物、ワークシート

(3) **展開**

場面	学習活動	時間	□主な発問 ◇補助発問 ●予想される生徒の反応	支援及び指導上の留意点
問題を見付ける	<b>資料から問題場面を見付ける</b> ・資料を読んで、問題となる場面を見付ける。	10分	◇資料を読んで、問題場面を見付けましょう。 資料の中で、どのような問題がありましたか。 <b>【問題場面を見付ける発問】</b> ●本を破ったのに黙っていた。 ●すぐに謝らなかった。	◇資料から問題となる場面を見付けさせ、ワークシートに記入させる。
	<b>問題意識を持つ</b> ・資料の問題場面と既存の道徳的価値を比べる。		◇主人公は本を破ったことを言わなくてよいと思っていたのでしょうか。 ●言わなければと思っていたけれど、言えなかった。 <b>【問題意識を持つ発問】</b> ●怒られたくないから。 ●黙っていれば見つからないから。 ●悪魔のささやきに負けてしまったから。	◇問題意識を持てるように、分かっているでも正しい行動ができない場面があることを共有させる。
	<b>切実感が高まる</b> ・問題が解決した場合、しない場合の状況を考える。		<b>【切実感が高まる発問】</b> ●自分にもありそうだ。 ●このままでは良くない。 ●誘惑に負けないように考えた方がよい。	◇自分事として切実感が高まるように、問題が解決しない場合を考えさせる。
	・学習課題（めあて）をつかむ。		めあて（例） 誘惑に負けて正しい行動ができないときの心を見つめよう。	◇自分の生活経験と照らし合わせ、同様の問題場面を想起させる。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">道徳的価値の理解を深める</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">道徳的価値について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題の解決に結び付く道徳的価値について考える。</li> <li>・ 考えを比べたり、整理したりする。</li> </ul>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">本の表紙が破れたとき、主人公はどのような気持ちだったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● どうしよう、困ったな。</li> <li>● 怒られるのは嫌だな。</li> <li>● 誰も気付いていない、知らないふりをしよう。</li> <li>● 正直に言いたいけど、言いづらいな。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ、主人公の気持ちが変わったのでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【問題の解決に結び付く発問】</p> <p>【自分に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 正直に言ってすっきりしなかったから。</li> <li>● この先ずっと後悔していくのは嫌だったから。</li> <li>● 堂々としていたと思ったから。</li> <li>● 弱い自分にさよならしようと思ったから。</li> <li>● 勇気を出そうと思ったから。</li> </ul> <p>【周りの人に対して】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 店員さんの言葉で、後ろめたい気持ちになったから。</li> <li>● 店員さんに悪いと思ったから。</li> <li>● 次に本を買う人に悪いと思ったから。</li> <li>● 母に隠し事をしなくなかったから。</li> </ul>	<p>◇ 正しい行動が取れない主人公の弱い気持ちに共感させる。</p> <p>◇ 主人公が正直に言えた理由を考えさせるために、意図的指名で多様な考えを出させ、整理する。</p> <p style="text-align: center;">【考えの比較・整理】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">解決策を考え、吟味する</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">解決策を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳的価値を基に、今までの自分とこれからの自分を見つめ、解決策を考える。</li> <li>・ 道徳上の問題に関わる自分の考えとその理由を書く。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">解決策を吟味する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小グループで考えを伝え合い、お互いの考えのよさを交流する。</li> <li>・ 気付いたことや更に考えたことを追記する。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時を振り返り、自己の変容を確かめる。</li> </ul>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">これから、どうすれば誘惑に負けずに行動できるでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">【問題の解決を図る発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● その場の雰囲気にならなないようにする。</li> <li>● 自分勝手な考えをしないようによく考える。</li> <li>● 周りの人のことを考える。</li> <li>● そのときはできなくても、後からでも行動に移す。</li> <li>● 自分と向き合って考える。</li> <li>● 弱い自分に勝てるようにする。</li> <li>● 自分が堂々とられるように行動をする。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">&lt;3人グループでの交流&gt;</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">①一人が自分の考えとその理由を発表する ②発表者に考えの良いところを伝える ③気付いたことや新しい考えを追記する</p>	<p>◇ 導入と照らし合わせ、実生活と結び付けて考えさせる。</p> <p>◇ 多様な考えに触れて、互いの考えのよさを認め合えるようにする。</p> <p style="text-align: center;">【小グループ活動】</p> <p>◇ 気付いたことはワークシートに追記させる。</p> <p>◇ より良く生活するために、自分の成長を振り返らせる。</p>
	15分	20分	5分

(4) 他の教育活動との関連

- ・学級活動 「自分を知ろう」
- ・生徒会活動 「人権集会」
- ・学校行事 「人権週間」

5 板書計画

めあて 誘惑に負けて正しい行動ができないときの心を見つめよう。

**つかの間の出来事**

- ・本を破いたことを黙っていた。
- ・すぐに謝れなかった。

どうしよう、困った。  
怒られるのは嫌だな。  
知らないふりをしよう。  
言いつらい。

**なぜ主人公の気持ちが変わったのか。**

【自分に対して】  
・すつきりしたい。  
・後悔していきたくはない。  
・後々としていきたい。  
・弱々としていきたい。  
・周りの人に対してさよならしよう。

【周囲の人に対して】  
・店員さんに後ろめたい。  
・次員さんに悪いられたくない。  
・母に隠し事をしたくない。

**これから、どうすれば誘惑に負けない行動ができるか。**

- ・その場の雰囲気（きづ）に流されない。
- ・そのときでなくても、後からでも行動に移す。
- ・自分と向き合って考える。
- ・堂々と行われるように行動する。